

三重縣公報

第三二五十七號

昭和十三年九月八日

木曜日

告示

●三重縣告示第七百二十六號

公有水面埋立工事竣功期間伸長ノ件左ノ通昭和十三年九月六日許可セリ

昭和十三年九月八日

三重縣知事 佐藤正俊

- 一、願人ノ住所氏名職業 河藝郡神戸町大字神戸新町 吳服商 山路清太郎
- 一、埋立ノ場所及面積 度會郡二見町大字江字奥條外二字地内河川一萬三千二百四十八坪一合四勺
- 一、埋立ノ目的 宅地、道路、荷揚場、護岸
- 一、工事竣功期限 元昭和十二年八月三十一日 新昭和十四年三月三十一日
- 一、埋立免許年月日 昭和七年一月二十八日

廳中事項

任三重縣立宇治山田中學校教諭

六級俸ヲ給ス

昭和十三年七月三十一日

願ニ依リ本職ヲ免ス 津市立高等女學校教諭 岩田かす

●敍任辭令

昭和十三年七月二十八日

北海道小樽商業學校教諭 池田定能

昭和十三年八月十一日

三重縣立津中學校教諭 山中文夫

願ニ依リ本職ヲ免ス

昭和十三年八月十七日

四日市高等女學校書記 岡田一雄

願ニ依リ本職ヲ免ス

昭和十三年八月二十四日

佐賀縣成美高等女學校教諭 岡田堯

任三重縣立津中學校教諭

六級俸ヲ給ス

昭和十三年八月三十一日

今村晃

任三重縣師範學校教諭

六級俸ヲ給ス

四日市高等女學校教諭 飯田てる

任津市立高等女學校教諭

八級俸ヲ給ス但當分ノ内金七拾圓給與

三重縣立桑名高等女學校教諭 荒木富美子

願ニ依リ本職ヲ免ス

三重縣公立小學校訓導 中谷實

任三重縣立明野農蠶學校教諭

九級俸ヲ給ス但當分ノ内金六拾圓給與

中森政男

任三重縣上野商業學校教諭

九級俸ヲ給ス但當分ノ内金六拾圓給與

三重縣公立小學校訓導 小野正巳

任四日市市立商工學校教諭

九級俸ヲ給ス但當分ノ内金六拾圓給與

松尾二兵衛

任四日市市立商工學校教諭

七級俸ヲ給ス

瀧川芳雄

任四日市市立商工學校教諭

七級俸ヲ給ス但當分ノ内金八拾圓給與

岩佐三男

任三重縣立木本中學校書記

八級俸ヲ給ス

兵庫縣公立青年學校教諭 小栗一郎

任三重縣立四日市商業學校教諭

七級俸ヲ給ス但當分ノ内金八拾圓給與

願ニ依リ本職ヲ免ス

三重縣師範學校書記 藤高秀超

土屋昌三

任三重縣立宇治山田中學校教諭

七級俸ヲ給ス但當分ノ内金八拾圓給與

石川富藏

任四日市高等女學校書記

九級俸ヲ給ス

古森退藏

四日市市立商工學校教諭

願ニ依リ本職ヲ免ス

三重縣公立青年學校教諭 川本正一

任三重縣立志摩水產學校教諭

七級俸ヲ給ス但當分ノ内金八拾圓給與

●教員出向

三重縣立宇治山田中學校教諭宇井芳雄ハ昭和十三年八月八日東京府へ、三重縣立名賀農學校教諭丸山重吉ハ同八月十一日鹿兒島縣へ、三重縣上野商業學校教諭坂口幹生ハ同日新潟縣へ就モ出向セリ

通牒照會

●統第五〇五號

昭和十三年九月八日

支廳長殿

各市町村長殿

總務部長

サツマイモ豫想收穫高報告方ノ件

昭和十二年七月二十七日附統第八四六號通牒（縣公報登載）ニ依リ九月十五日現在ヲ以テ調査シ九月十七日迄ニ御報告可相成サツマイモ豫想收穫高ニ付テハ調査上遺漏ナキハ勿論右期限御勵行相成度爲念申進候也
追而左記事項御留意相成度申添候

記

- 一、前年作付段別、收穫高ニ比シ増減ノ理由ヲ備考ニ説明ノコト
- 一、氣候ノ經過、成育ノ狀況、病蟲害、風水害ノ有無等ヲ備考ニ説明ノコト

●教第三、四八二號

昭和十三年九月八日

支廳長殿

各市町村長殿

學務部長

戰時縣民生活樣式刷新ニ關スル件

八月三十日付教第三、四八二號（公報登載）標記依命通牒中戰時縣民生活樣式刷新實踐標準第二項「（一）服裝簡素」ニ關シテハ左記ノ通御取扱相成度此段及通牒候也

記

- 一、服裝簡素 第一號中「又ハ之ニ準スル場合」トハ奉讀式、祈願式、高貴ノ方ノ御成ノ席等ヲ指スモノトス
- 二、國民儀禮章、2 使用ノ場合中「其ノ他ノ儀禮ノ場合」トハ宣誓式、誓約式等ヲ指スモノトス

●社兵第二、八六九號

昭和十三年九月八日

學 務 部 長

支 廳 長 殿

各 市 町 村 長 殿

市町村葬執行報告ニ關スル件

今次事變關係戰歿者ノ市町村葬執行日時ハ其ノ都度御報告相成居候處當日知事又ハ代理官參列ノ都合モ有之候ニ付乍御手数數可成速ニ社寺兵事課ニ到着スル様確實ナル方法ヲ以テ御報告相成様致度此段及通牒候也
追テ南牟婁郡内各町村ニアリテハ同時ニ支廳長宛御報告相成度申添候

●商第二、六六二號

昭和十三年九月八日

經 濟 部 長

各市町村長殿

人造絹絲卸業者調査方ノ件

今般縣下ニ於ケル標題業者ヲ網羅セル商業組合設立認可上必要有之候ニ就テハ貴部内當該業者ニ關シ左記ニ
因リ調査ヲ遂ゲ來ルル九月十五日迄遲滯無ク報告相成度

追テ該期日迄報告無之場合ハ該當業者無キモノトシテ處理可致ニ付爲念申添候

記

一、人造絹絲竝人絹絲ノ加工絲ノ常時卸賣商業ヲ營メル者ノ住所氏名

●商第二、二〇二號

昭和十三年九月八日

經濟警察部
學務部
部長
部長
部長

支應長殿
各警察署長殿
各市町村長殿
各中等學校長殿
各小學校長殿
國防婦人會三重本部長殿
愛國婦人會三重支部長殿

屑物價格ニ關スル件

八月二十六日附商第二、二〇二號ヲ以テ第二回發表致候屑物價格左記ノ通り變更ノ旨届出有之候條此段及通知候也

種別	價格	種別	價格
上銅	一貫二付 三、五〇	下鉛	六〇
下銅	二、五〇	延ニユーム	四、〇〇
眞鉛	二、〇〇	鑄物ニユーム	二、〇〇
上鉛	一、五〇	新開	三、三五

洋	本	一、八
ボ	ロ	三、五
小	ロ	五、〇
モ	五、〇	〇、〇
上	三、〇	〇、〇
下	一、五	〇、〇
鉄	一、〇	〇、〇
原	三、〇	〇、〇
料	〇、三	〇、〇
乾	〇、二	〇、〇
紙	〇、一	〇、〇
硝	〇、一	〇、〇
古	八、〇	〇、〇
ビ	〇、一	〇、〇
ル	〇、一	〇、〇
一	〇、四	〇、〇

●商第二、六六三號

昭和十三年九月八日

經濟部 長

支廳長殿

各市町村長殿(松阪市、中島村、桑部村ヲ除ク)

各中等學校長殿

各小學校長殿

廢品回收三重地方委員會支部設置ニ關スル件

國防資源確保並國際收支ノ上ヨリ觀テ廢品ノ重要性ハ益々加ハリツツアルニ鑑ミ七月二十八日附縣公報商第二、二〇二號ヲ以テ廢品回收三重地方委員會第一回委員會ノ決定事項ニ基キ支部設置方通牒(支部規程例共)致置候處其後支部設置ノ向モ有之本運動ノ活動ハ漸次徹底スルヤニ見受ケラレ候就而ハ廢品回收三重地方委員會並各支部ト連絡ノ下ニ更ニ本運動ノ徹底ヲ期シ度候ニ付テハ至急支部設置方御配慮相成度此段申進候也

追而支部設置ノ向ハ支部事業ニ協力致度ニ付申出相成度申添候

●商第二、五〇九號

昭和十三年九月八日

支廳長殿

各市町村長殿

縣農會長殿

經濟部 長

日本硫安株式會社硫安配給ニ關スル件

今般日本硫安株式會社ニ於テハ曩ニ第四回重要肥料業委員會ニ諮問ノ上承認決定相成タル硫安ノ公定價格ニ基キ本年八月乃至十二月ニ於ケル硫安ノ販賣價格竝ニ指定小賣最高價格ニ關シ之ガ認可ノ申請アリタルヲ以テ左記ノ通七月二十日附ヲ以テ認可相成候趣通牒ノ次第モ有之候條貴部内關係者ニ周知方可然御取計相成度此段及通知候也

記

一、日本硫安株式會社販賣價格

一、昭和十三年八月乃至十二月各月渡硫安ノ販賣價格ヲ左ノ通トス

(一) 内地各驛 (省線及直通連帶社線)、主要港又ハ工場ヨリ直接配給シ得ル各港著渡賃込

三七・五疋入一呎當 金三圓八十錢也

(二) 撒物工場渡ハ前號販賣價格ヨリ三七・五疋ニ付金二十九錢引ノ割合トス

二、前項ノ販賣條件ト異ル販賣價格及取引條件

イ、工場渡ハ三七・五疋入一呎ニ付金五錢引トス

ロ、同一條件ノ下ニ於ケル呎詰ト撒トノ値開キハ三七・五疋ニ付金二十四錢トス

麻袋詰ト呎詰トノ値開キハ實費ヲ以テ基準トシ當社ニ於テ適時定ムルモノトス

- ハ、日本製鐵株式會社ノ硫安ニ付テハ同社ト當社トノ間ニ協定セル買入價格ニ基キ前記販賣價格ノ範圍内ニ於テ之ヲ定ムルモノトス
- 前項以外ノ副産硫安ニ付テハ其ノ成分、品質ヲ基準トシテ右價格ニ準ジ當社ニ於テ適當ニ定ムルモノトス
- 前二項ノ場合ニ於テハ實施前政府ニ届出ヅルモノトス
- 三、販賣價格中ニハ三七・五珥ニ付外安(滿洲及滿化硫安ヲ除ク)輸入補償積立金トシテ金四錢ヲ包含スルモノトス
- 四、實施期日 農林、商工兩大臣認可ノ日
- 五、實施期間 昭和十三年十二月三十一日迄
- 二、日本硫安株式會社指定小賣最高價格
 - 一、昭和十三年八月乃至十二月各月渡硫安ノ基準受渡場所「内地各驛(省線及直通連帶社線)、主要港又ハ工場ヨリ直接配給シ得ル各港」ニ於ケル小賣最高價格ハ三七・五珥入一珥ニ付右受渡場所ニ於ケル當社販賣價格ノ金十四錢増トス但シ基準受渡場所以外ニ於テ受渡ヲ爲ス場合ハ別ニ運送費其ノ他ノ實費ヲ加算シ得ルモノトス
- 二、販賣條件ニ付テハ當社販賣價格ノ條件ニ準ズルモノトス
- 三、實施期日 農林、商工兩大臣認可ノ日
- 四、實施期間 昭和十三年十二月三十一日迄

●商第二、三五〇號

昭和十三年九月八日

經濟部 長

支廳長 殿
各市町村長 殿

鐵鋼製品配給統制ニ關スル件

今般鐵鋼ヲ原料トスル所謂第一次工程ノ製品タル空罐及鑄造品ノ第二次工程ノ製造業者ニ對スル配給統制ヲ實施相成左記各統制要綱決定ニ付及通知候也

追而鑄造品需給調整協議會ニ參加スル鑄造品需要者ノ團體(工作機械又ハ鑛山機械等ニ關スル工業組合等)ハ更ニ追加セララルル趣ニ付申添候

記

空罐 配給統制要綱 一三、八、一 商工省

一、食料品罐詰製造用空罐ノ需給ヲ調整スル爲左ノモノヲ以テ組織スル需給調整協議會ヲ商工省内ニ設クルコト

(一) 商工省

(二) 農林省

(三) 關係業者ノ團體(別記)

二、需給調整協議會ハ原則トシテ輸出向食料品製造用、軍需向食料品製造用及内地向煉粉乳製造用空罐ノ供給數量ニ付割當ヲ爲スコト

三、需給調整協議會ニ提案スベキ原案ハ商工省、農林省、製罐工業組合及罐詰製造業者、團體ノ代表者ヲ以テ組織スル委員會ニ於テ之ヲ作成スルコト

- 四、需給調整協議會ハ左ノ事項ヲ協議決定スルコト
 - (一) 空罐ノ種類別生産總數量
 - (二) 各罐詰製造業者團體ニ對スル製罐業者別空罐割當數量
 - (三) 前各號ノ外需給調整ニ必要ナル事項
- 五、製罐工業組合ハ需給調整協議會ニ於テ決定シタル種類別生産總數量ヲ其ノ組合員ニ對シ一定方法ニ依リ割當アルコト
- 六、製罐業者ハ前項ニ依リ割當テラレタル數量ニ相當スル空罐ノ製造ヲ爲スコト
- 七、製罐業者ハ其ノ製造スル空罐ニ内地向煉粉乳製造用及其ノ他用ノ別ニ從ヒ夫々記號ヲ附スルコト
- 八、各罐詰製造業者團體ハ需給調整協議會ニ於テ決定シタル空罐割當數量ニ相當スル空罐割當證明書ヲ其ノ所屬團體員ニ對シ一定方法ニ依リ交付スルコト
- 九、製罐業者ハ罐詰製造業者團體ノ發行スル割當證明書ト引換ニ空罐ヲ販賣シ引換ヘタル割當證明書ヲ工業組合ニ送附スルコト
- 十、製罐工業組合ハ其ノ所屬組合員ガ販賣シタル空罐ノ種類別販賣先別數量ヲ需給調整協議會ニ報告スルコト
- 十一、罐詰製造業者ハ自己ノ購入シタル空罐ノ種類別使用數量ヲ其ノ所屬スル團體ニ報告シ當該團體ハ之ヲ取糖ノ需給調整協議會ニ報告スルコト尙輸出向用ニハ水産組合、輸出組合其ノ他ノ關係團體ノ認證ヲ添フルコト
- 十二、學校、試験所、講習所其ノ他ノ試験研究機關ニ於テ罐詰製造ノ爲ニ必要ナル空罐ノ割當數量ハ農林省ニ於テ之ヲ一括保留シ置キ當該機關ヲシテ農林省ノ發行スル空罐割當證明書ト引換ニ製罐業者ヨリ空罐ノ供給ヲ受ケシムルコト

別記

- 製罐工業組合
- 日本密柑罐詰工業組合聯合會
- 全國購買組合聯合會
- 日本鮭鱈罐詰業水産組合
- 日本鮪類罐詰業水産組合
- 日本輸出鱈罐詰業水産組合
- 日本蟹罐詰業水産組合聯合會
- 日本輸出貝類罐詰業水産組合
- 日本罐詰協會
- 大日本製乳協會

鑄造品配給統制要綱

一三、八、一〇 工 務 局

第一、趣 旨

鑄造用銑鐵ノ減產ト其ノ配給統制トハ鑄造品ノ著シキ減產ヲ來スベキ處時局關係ノ鐵鋼機械器具類ノ製作ハ更ニ之ヲ促進セシムベキ情勢ニ在ルニ鑑ミ鑄造品ノ製作及販賣ニ付テハ數量、用途、販賣先、鑄造業者、取引條件等ヲ合理的ニ規制シ其ノ需給關係ヲ調整スルノ要アリ仍テ以下ニ依リ鑄造品配給統制ノ制度ヲ實施セントス

第二、協 議 會

一、鑄造品ノ需給調整ニ關スル事項ヲ協議決定セシムル爲差當リ左ノモノヲ以テ組織スル鑄造品需給調整

協議會(以下協議會ト略稱ス)ヲ商工省内ニ設置シ少クトモ年四回之ヲ開催スルコト

商工省關係官

日本鑄物工業組合聯合會(以下鑄工聯ト略稱ス)代表者

機械工業鐵鋼配給會(以下配給會ト略稱ス)代表者

二、協議會ニ於テハ左ノ事項ヲ協議決定スルコト

(一) 年四半期毎ニ於ケル鑄造品ノ需要者(配給會員タル發註者以下同ジ)別及品種別ノ製作數量

(二) 鑄造品ノ製作及販賣ニ關スル條件

(三) 受註先ニ關スル事項

(四) 前各號ノ外鑄造品ノ需給調整上必要ナル事項

第三、方 法

一、配給會ハ一四半期ニ於ケル其ノ所要鑄造品ノ需要者別、鑄造業者別及品種別數量ヲ取纏メ之ヲ協議會ニ提示スルコト

二、鑄工聯ハ前號ノ提示ニ係ルモノノ製作ニ付配給會ト商議スルコト

商議調ハザルトキハ商工省ノ提議ニ基キ協議スルコト

三、前號ノ商議調ヒタルトキハ鑄工聯ハ其ノ所屬工業組合(以下組合ト略稱ス)ニ對シテ需要者別及品種別ニ製作數量ノ割當ヲ爲スコト

四、前號ノ割當ヲ受ケタル組合ハ直ニ同様ニ其ノ所屬組合員タル鑄造業者ニ對シテ需要者別及品種別ニ製作數量ノ割當ヲ爲シ之ヲ鑄工聯ニ報告スルコト

五、前號ニ依ル報告ヲ受ケタル鑄工聯ハ直ニ割當ヲ受ケタル鑄造業者ノ名稱、製作スベキ鑄造品ノ需要者、品種別數量、納期、所要原料銑鐵ノ種類數量等ヲ記載シタル製作證明書ニ三通ヲ作成シ一通ハ之ヲ鑄工

聯ニ保有シ置キ他ノ二通ハ夫々之ヲ鑄造業者及配給會ニ交付スルコト

六、前號ノ製作證明書ノ交付ヲ受ケタル配給會ハ直ニ之ヲ需要者ニ配付スルコト

七、受註スベキ鑄造業者ガ協議會ニ於テ決定シタル場合ニ於テハ當該鑄造業者ニ關スル限り第三號及第四號ノ手續ヲ省略シテ鑄工聯ハ直ニ製作證明書ヲ當該鑄造業者及配給會ニ交付スルコト

八、製作證明書ニ記載セラレタル需要者(會員タル發註者)及鑄造業者ハ製作證明書ニ記載セラレタル事項ニ從テ鑄造品製作ニ關スル契約ヲ締結スルコト

第四、方 針

一、鑄工聯ハ其ノ所屬組合ノ組合員タル鑄造業者ニ對シ配給會關係ニ關スル限り製作證明書ニ記載セラレタル所要原料銑鐵ノ數量ニ付鐵鋼割當證明書ヲ發行スルコト

二、鑄工聯ガ其ノ所屬組合ニ對シ又ハ組合ガ其ノ所屬組合員タル鑄造業者ニ對シ鑄造品製作ノ割當ヲ爲スニ當リテハ配給會ノ指定スル所ニ準據スルコト右ノ結果註文ノ偏在其ノ他ノ弊害ヲ惹起スル場合ニ於テハ鑄工聯ノ配給會關係以外ノ一般鐵鋼割當證明書發行ニ當リテ之ヲ是正スルコトニ努ムルコトトスルモ更ニ必要アル場合ニ於テハ鑄工聯ハ配給會ト協議ノ上鑄造業者ノ設備能力、技術、資力、信用等ヲ參酌シ他ノ鑄造業者ニ對スル註文ノ分配ニ付考慮スルコト

三、鑄工聯ガ其ノ所屬組合ニ爲シタル割當又ハ組合ガ其ノ所屬鑄造業者ニ爲シタル割當ニ對シテハ鑄造品ノ品種、數量、品質、納期等ニ付鑄工聯ハ配給會ニ對シテ責任ヲ負フコト

昭和十三年九月八日印刷發行

三重縣公報(第三種郵便物認可)

三重縣津市下郡田千六百十九番地ノ二
印刷所
振替口座番號
三
重
縣
廳
振替口座番號
名古屋一四五〇六番